aiwa

AR-MD20

ワールドバンドラジオ

取扱説明書/保証書

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

8-RA2-901-04

©2021 AIWA JAPAN INC Printed in China

安全上のご注意

火災や感電などによる人身事故を防ぐため、次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはアイワの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

電源を切り、電池を取り出しまたは電源端子からプラグを抜き、お買い上げ店またはアイワの相談窓口に修理を依頼してください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

⚠危険

禁止

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃用や潤滑油などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。

⚠警告

禁止

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源を切り、電池を取り出しまたは電源端子からプラグを抜き、お買い上げ店またはアイワの相談窓口にご相談ください。

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはアイワの相談窓口に交換をご依頼ください。

禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

接触禁止

雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない

感電の原因となります。ロッドアンテナ付き製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにアンテナをたたんで使用を中止し、その後は触れないでください。

禁止

通風孔をふさがない

布をかけたり、壁などに密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

⚠注意

分解禁止

分解・修理・改造はしない

感電・火災の原因となります。内部点検・調査及び修正はお買い上げの販売店またはアイワの相談窓口にご依頼ください。

プラグをコンセントから抜く

移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

禁止

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

禁止

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにイヤホンやヘッドホンで聞くときにご注意ください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

乾電池

アルカリ、マンガン

⚠危険　乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、アイワの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも調子が悪いときは

アイワの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は

製品保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは製品保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

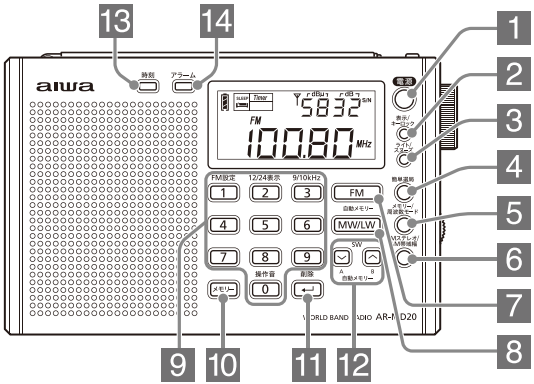
部品の保有期間について

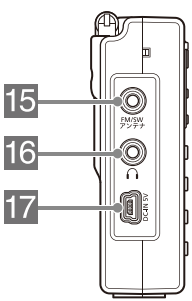
補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

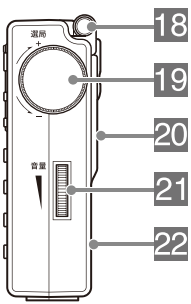
目次

安全上のご注意 2
各部の名称 10
ディスプレイ表示 12
電源について 13
スタンドについて 14
時刻を設定する 14
ラジオを聞く 15
プリセットメモリーを使ってラジオを聞く 19
メモリー登録を消去する 23
FM放送をステレオ音声で受信する 24
AM帯域幅を設定する 24
スリープタイマーを設定する 26
アラームを設定する 27
スヌーズを機能させる 28
ディスプレイ表示を切り換える 28
キーロックを設定する 28
バックライトを設定する 28
各種の設定を行う 30
外部アンテナ(別売)を使ってFM/SWの受信状態を良くする 31
故障かなと思ったら 32
主な仕様 33

各部の名称

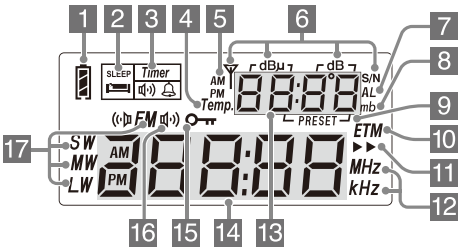

13
14
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
aiwa
時刻
アラーム
電源
FM
MW/LW
FM設定
12/24表示
9/10kHz
メモリー
操作音
削除
AR-MD20


15
16
17
FM/SW
アンテナ
DC IN 5V


18
19
20
21
22
選局
音量

1 電源ボタン
2 表示/キーロックボタン
3 ライト/スヌーズボタン
4 簡単選局(ETM：Easy Tuning Mode)ボタン
5 メモリー（モード）/周波数モードボタン
6 FMステレオ/AM帯域幅ボタン
7 FM/自動メモリーボタン
8 MW/LW/自動メモリーボタン
9 数字キー /FM設定/12/24表示/9/10kHz/操作音ボタン
10 メモリーボタン
11 ↩/削除ボタン
12 SW/自動メモリー /∨/∧ボタン
13 時刻ボタン
14 アラームボタン
15 FM/SWアンテナ端子
16 ∩(ステレオイヤホン)端子：付属のステレオイヤホン(Φ3.5mmステレオミニプラグ)をつなぎます。イヤホンをつなぐとスピーカーから音は出なくなります。
17 USB DC-IN 5V端子
18 FM/SWロッドアンテナ
19 選局ダイヤル
20 スタンド
21 音量ダイヤル
22 電池蓋

ディスプレイ表示

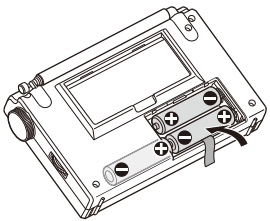


1 電池残量表示
2 スリープタイマー表示
3 アラーム表示
　: ブザーのアラーム
　: ラジオのアラーム
4 温度表示
5 AM/PM表示(12時間表示のとき表示)
6 受信レベル表示
　dBμ：電波の強さ
　(数値が大きい方が信号が強い)
　dB：ノイズと信号のレベル差
　(数値が大きい方がノイズが少ない)
7 アラーム表示
8 メーターバンド表示
9 プリセット表示
10 簡単選局(ETM：Easy Tuning Mode)表示
11 選局スピード表示
　▶:ゆっくりな選局
　▶▶:早い選局
12 周波数単位表示
13 電源切時：温度、アラーム時刻
　電源入時：温度、時刻、受信レベル、アラーム時刻、音量、プリセットメモリー番号、メーターバンド
14 時刻/周波数表示
15 キーロック表示
16 FMステレオ表示
17 バンド表示

電源について

乾電池で使う

背面の電池ぶたを開け、単３形乾電池（別売）を３本入れます。必ず－側から、＋と－を正しく入れてください。入れた後、電池のふたを閉めます。

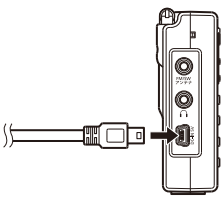


ご注意

電源が入らない場合は、乾電池が正しく入っているか、乾電池が消耗していないか、あるいは、キーロックが設定されていないか（28ページ）を確認してください。

外部電源で使う

付属のUSB電源ケーブルを本機側面のDC-IN 5V端子に接続し、反対側にACアダプター（別売）を接続し、それを家庭用コンセントに差し込んでください。

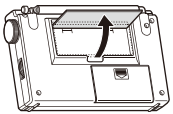


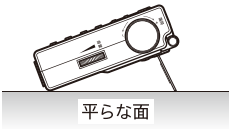
ACアダプターは市販のUSB ACアダプター（USB A）をお使いください。

出力電圧：5 V 出力電流：500 mA 以上

スタンドについて

机の上など平らな場所に設置するときは、背面のスタンドを手前に起こし、寝かせて使用してください。本機を安定した状態で操作できます。





時刻を設定する

1. 時刻ボタンを「時」表示が点滅するまで押し続け、点滅している間に選局ダイヤルを回して「時」を設定する。
2. 時刻ボタンを押して「分」表示を点滅させ、点滅している間に選局ダイヤルを回して「分」を設定する。
3. 時刻ボタンを押して確定する。
   （時刻ボタンを押さなくても約3秒後に自動的に確定されます。）

数字キーを使って時計表示を設定する

1. 時刻ボタンを「時」表示が点滅するまで押し続ける。
2. 数字キーを押す。
   例えば、8時15分の場合、数字キーを０８１５と押します。

ラジオを聞く

基本操作

1. 電源ボタンを押して、電源を入れる。
2. 聞きたいバンドを選ぶ。
   FM放送を聞く場合はFMボタンを押します。
   MWまたはLW放送を聞く場合はMW/LWボタンを押します。
   SW放送を聞く場合はSWボタン(∨/∧)を繰り返し押してメーターバンド(25ページ)を選びます。

3. アンテナを調整する。
   MWまたはLW放送を聞く場合は本機の向きを変えて調節します。
   FMまたはSW放送を聞く場合はFM/SWロッドアンテナを伸ばし、アンテナの角度を調節します。または、本機を置く場所を変えます。
4. **手動で選局する。**
   メモリー/周波数モードボタンを押して周波数モードにしてから(他の選局モードで聞いていた場合は周波数表示が点滅します)、選局ダイヤルを回して、放送局を選びます。

表示・操作	▶・ゆっくり回す	▶▶・早く回す
バンド	受信ステップ	
FM	0.01 MHz	0.1 MHz
MW	1 kHz	9 kHzまたは10 kHz
LW	1 kHz	9 kHz
SW	1 kHz	5 kHz

本機では"手動で選局する"以外に下記ような方法でも選局できます。

- **簡単選局**：移動先のエリアで受信できる局を選局する。(17ページ)
- **試聴受信選局**：放送を試聴しながら選局する。(18ページ)
- **プリセットメモリー選局**：登録したメモリーから選局する。(19、20ページ)
- **メモリー試聴選局**：登録したメモリーの放送を試聴しながら選局する。(22ページ)

数字キーを使って周波数を入力して受信する

15ページ「基本操作」の手順1から3を行った後に、メモリー /周波数モードボタンを押して周波数モードにして(他の選局モードで聞いていた場合は周波数表示が点滅します)、0 ～ 9の数字キーを押して周波数を入力します。

ご注意

- 数字キーを使って周波数を入力してFM放送を聞く場合は、小数点を入力する必要はありません。例えば、FM 90.3 MHzを受信する場合、数字キーを9 0 3と押します。
- 入力した周波数が存在しない場合、「Err」が表示されます。

簡単選局を使って選局する

簡単選局を使うと、受信可能な放送局を一括スキャンし、受信した放送局を一時的に保存することによって、簡単に選局することができます。

1. 15ページ「基本操作」の手順1から3を行う。
2. 簡単選局ボタンを押す。
   「ETM」が表示されます。
   (ETM：Easy Tuning Mode)
3. 周波数表示が変化し、スキャンが始まるまで再度簡単選局ボタンを押し続ける。
   スキャンは自動的に終了し、受信した放送局が簡単選局メモリー番号順に一時的に保存されます。

4. 選局ダイヤルを回して、放送局を選ぶ。

簡単選局モードを止める

メモリー /周波数モードボタンを押します。「ETM」が消えます。

簡単選局で選局するときのご注意

(FM放送を受信する場合)

普段使用するエリアとは異なる都市や国で簡単選局を使う場合は、再度スキャンし直してください。そのまま使用すると保存内容が更新されず正しく受信できません。

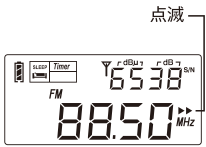
(MW放送またはSW放送を受信する場合)

時間帯によって受信状況が異なります。そのため、午前、午後、夜間にそれぞれで簡単選局のスキャンを行い、状況に合わせて更新してください。

試聴受信を使って選局する

試聴受信を使うと、受信可能な放送局を試聴しながら、聞きたい放送局を選ぶことができます。

1. 15ページ「基本操作」の手順1から3を行う。
2. メモリー /周波数モードボタンを押して周波数モードにする。
   他の選局モードで聞いていた場合は周波数表示が点滅します。
3. 「▶▶」が点滅するまで再度メモリー /周波数モードボタンを押し続ける。
   自動検索が始まります。受信可能な放送局が見つかると約5秒間試聴受信し、次の放送局を検索します。



4. 聞きたい放送局が見つかったら、メモリー /周波数モードボタンを押す。
   試聴受信が終了し、通常の受信状態に戻ります。

プリセットメモリーを使ってラジオを聞く

受信可能な放送局をあらかじめプリセットメモリーに登録し、プリセットメモリー番号を選ぶだけで聞きたい放送局を受信することができます。FM、MW、LWが各100局、SWが250局まで、プリセットメモリーに登録できます（合計550局）。

自動メモリー登録・選局する（FM放送またはMW/LW放送を聞く場合）

自動メモリーを使うと受信可能な放送局を一括してプリセットメモリーに登録できます。

1. 15ページ「基本操作」の手順1から3を行い、FMまたはMW/LWバンドを選ぶ。
2. 選んだバンドのボタン（FMまたはMW/LW）を「PRESET」が点滅するまで押し続ける。
   周波数表示が変化しスキャンが始まり、受信可能な放送局が自動的にメモリー登録されます。スキャンが終了すると自動登録は完了です。

3. 選局ダイヤルを回して、プリセットメモリー番号を見ながら聞きたい放送局を選ぶ。

自動メモリー登録・選局する(SW放送を聞く場合)

1. 15ページ「基本操作」の手順1から3を行い、SWバンドを選ぶ。
2. SW放送の自動メモリーには2つの方法があります。
   モードA: SWボタン(∨)を「PRESET」が点滅するまで押し続ける。
   すべてのメーターバンドを検索して登録します。
   モードB: SWボタン(∧)を「PRESET」が点滅するまで押し続ける。
   選択中のメーターバンドだけを検索して登録します。
3. 選局ダイヤルを回して、プリセットメモリー番号を見ながら聞きたい放送局を選ぶ。

ご注意

自動メモリー登録を行った場合、すでに登録された内容は上書きされます。ただし、SW放送のモードBで自動メモリー登録を行った場合だけは、登録内容は上書きされず、新しく認識した放送局を空いているメモリー番号に登録します。

手動メモリー登録・選局する

1. 15ページ「基本操作」の手順1から4を行う。
2. メモリーボタンを押す。
   「PRESET」が点滅します。
3. 「PRESET」が点滅している間に再度メモリーボタンを押す。
   選んだ放送局がプリセットメモリーに登録されます。(メモリーボタンを押さなくても約3秒後に、選んだ放送局がプリセットメモリーに登録されます。)
4. メモリー /周波数モードボタンを押してメモリーモードにしてから(他の選局モードで聞いていた場合は「PRESET」が点滅します)、選局ダイヤルを回して、プリセットメモリー番号を見ながら聞きたい放送局を選ぶ。

試聴受信を使ってメモリー登録・選局する

試聴受信を使って受信可能な放送局を試聴しながら、聞きたい放送局をプリセットメモリーに登録することができます。

1. 15ページ「基本操作」の手順1から3を行う。
2. メモリー /周波数モードボタンを押して周波数モードにする。
   他の選局モードで聞いていた場合は周波数表示が点滅します。
3. 「▶▶」が点滅するまで再度メモリー /周波数モードボタンを押し続ける。
   自動検索が始まります。受信可能な放送局が見つかると約5秒間試聴され、その後、次の放送局を検索します。

4. 聞きたい放送局が見つかったら、メモリーボタンを押す。
   選んだ放送局がプリセットメモリーに登録され、試聴受信が再開されます。
5. メモリー /周波数モードボタンを押して、試聴受信を終了させる。
6. メモリー /周波数モードボタンを押してメモリーモードにしてから（他の選局モードで聞いていた場合は「PRESET」が点滅します）、選局ダイヤルを回して、プリセットメモリー番号を見ながら聞きたい放送局を選ぶ。

メモリー試聴受信を使って選局する

1. 15ページ「基本操作」の手順1から3を行う。
2. メモリー /周波数モードボタンを押してメモリーモードにする。
   他の選局モードで聞いていた場合は「PRESET」が点滅します。
3. 「PRESET」が点滅するまで再度メモリー /周波数モードボタンを押し続ける。
   プリセットメモリー番号順に放送局が約5秒間試聴されます。
4. 聞きたい放送局が見つかったら、メモリー /周波数モードボタンを押す。
   試聴受信が終了し、通常の受信状態に戻ります。

数字キーを使ってプリセットメモリー番号を入力して選局する

1. 15ページ「基本操作」の手順1から3を行う。
2. メモリー /周波数モードボタンを押してメモリーモードにする。
   他の選局モードで聞いていた場合は「PRESET」が点滅します。
3. 0 ～ 9の数字キーを押してプリセットメモリー番号を入力する。
4. ↵ボタンを押して、決定させる。

ご注意

入力したプリセットメモリー番号が存在しない場合、「----」が表示されます。

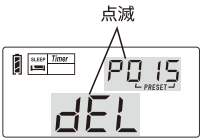
メモリー登録を消去する

3つの方法で登録したメモリー内容を消去することができます。

手動メモリー消去

放送局のメモリー登録を消去します。

1. 消去したい放送局のプリセットメモリー番号を選ぶ。
2. 削除ボタンを「dEL」が点滅するまで押し続ける。
3. 「dEL」が点滅している間に再度削除ボタンを押す。



試聴受信を使ったメモリー消去

試聴受信を使って放送局を試聴しながら、メモリー登録を消去することができます。

1. 15ページ「基本操作」の手順1から3を行う。
2. メモリー /周波数モードボタンを押してメモリーモードにする。
   他の選局モードで聞いていた場合は「PRESET」が点滅します。
3. 「PRESET」が点滅するまで再度メモリー /周波数モードボタンを押し続ける。
   プリセットメモリー番号順に放送局が約5秒間試聴されます。
4. 消去したい放送局のプリセットメモリー番号のところで削除ボタンを押す。
   「dEL」が点灯し、メモリー登録が消去されます。その後、次のプリセットメモリー番号の放送局が試聴されるので、削除ボタンを押すと続けて消去することができます。

5. メモリー /周波数モードボタンを押して、試聴受信を終了させる。

全メモリー消去

バンド内のすべてのメモリー登録を一度に消去することができます。

1. 15ページ「基本操作」の手順1から3を行い、メモリー登録を削除したいバンドを選ぶ。
2. メモリー /周波数モードボタンを押してメモリーモードにする。他の選局モードで聞いていた場合は「PRESET」が点滅します。
3. 「ALL」が点滅するまで削除ボタンを押し続ける。
4. 「ALL」が点滅している間に再度削除ボタンを押す。

FM放送をステレオ音声で受信する

ステレオのイヤホンを接続してFM放送を聞いているときにFMステレオ/AM帯域幅ボタンを押すと、ステレオ音声で放送を聞くことができます。ステレオ音声になると「((( ))) 」が点灯します。再度FMステレオ/AM帯域幅ボタンを押すと「((( ))) 」が消灯し、モノラル音声に戻ります。(FM放送局がステレオ音声を放送していないと、ステレオ音声で受信することはできません。)

AM帯域幅を設定する

MW/LW放送またはSW放送を聞いているときにFMステレオ/AM帯域幅ボタンを押すと、6・4・3・2・1 kHzの単位で帯域幅を調節することができます。帯域幅が大きいと音声をより忠実に受信することができますが、近接する放送電波の影響を受けやすくなります。小さい帯域幅は弱い電波や遠距離からの電波を受信するのに適しています。受信状況に合わせて調節してください。
(工場出荷時、3 kHzに設定されています。)

メーターバンドとは

短波放送を波長で分けた周波数帯のことです。この周波数帯に、一般向け国際放送の周波数が割り当てられ、本機では13のメーターバンドに分けられています。

メーターバンド	周波数帯(kHz)	主な放送局
120 m	2300 ～ 2495	熱帯地方のローカル局
90 m	3200 ～ 3400	熱帯地方のローカル局
75 m	3900 ～ 4000	ラジオNIKKEI（J）
60 m	4750 ～ 5060	熱帯地方のローカル局
49 m	5950 ～ 6200	ラジオNIKKEI（J）・ラジオ韓国（J）・VOA（E）
41 m	7100 ～ 7300	ラジオ日本(J/E)・BBC（E）・VOR（J/E）・中国国際放送(J/E)
31 m	9500 ～ 9900	ラジオ日本(J/E)・ラジオNIKKEI（J）・BBC（E）・VOA（E）・ラジオ韓国(J/E)
25 m	11650 ～ 12050	ラジオ日本(J/E)・BBC（E）・VOA（E）・DW（E）
22 m	13570 ～ 13800	ラジオ韓国(E)・オランダ放送(E)・ラジオフランス(F)
19 m	15100 ～ 15600	ラジオ日本(J/E)・VOA（E）・BBC（E）・ラジオフランス(F)
16 m	17550 ～ 17900	ラジオ日本(J/E)・BBC（E）・VOA（E）・ラジオオーストラリア(E)・DW（E/G)
15 m	18900 ～ 19020	遠距離向け国際放送
13 m	21450 ～ 21850	ラジオ日本(J/E)・ラジオオーストラリア(E)・DW（E/G)

(J)：日本語　(E)：英語　(F)：フランス語　(G)：ドイツ語

短波(SW)放送について

短波は地上60 ～ 500 kmにある電離層に反射する特性があり、地表と電離層の間を遠くまで進むため、条件がよければ、ほぼ全世界の短波放送を受信することができます。

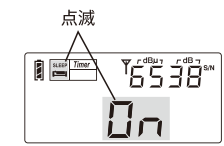
周波数について

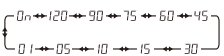
電離層の状態の変化に影響され、条件の良い周波数は、季節・時刻・地域などによって変わってしまいます。そのため放送局はどのような条件でも良好に受信できるように季節・時刻によって複数の周波数を切り替えて、または、同時に使って放送しています。夏季・昼間は高い周波数、冬季・夜間は低い周波数の方がよく伝わります。

スリープタイマーを設定する

電源が切れるまでの時間を設定できます。

1. 電源が入っていない状態で、電源ボタンを「SLEEP」が点滅するまで押し続ける。
2. 「SLEEP」が点滅している間に選局ダイヤルを回して、電源が切れるまでの時間を設定する。
(「On」を選ぶとスリープタイマーが設定されていない状態になります。)





電源が切れるまでの時間範囲

アラームを設定する

ブザーのアラームまたはラジオのアラームを設定する

1. アラームボタンを「時」表示と「AL」が点滅するまで押し続け、点滅している間に選局ダイヤルを回して「時」を設定する。
2. アラームボタンを押して「分」表示を点滅させ、点滅している間に選局ダイヤルを回して「分」を設定し、再度アラームボタンを押す。
3. 選局ダイヤルを回してアラームが解除されるまでの時間(1 ～ 90分の間)を設定し、アラームボタンを押して時間を確定させる。
   アラーム設定前の表示に戻ります。

解除されるまでの時間

4. アラームボタンを繰り返し押して、ブザーのアラームまたはラジオのアラームを選ぶ。
   「🔔」点灯：ブザーのアラームが起動
   「🔊」点灯：ラジオのアラームが起動
   消灯：アラームは起動しない
5. ラジオのアラームを選んだ場合、聞きたい放送局と音量(10 以上)を選ぶ。
   メモリーボタンを押すと「PRESET」が点滅し、点滅中にアラームボタンを押すと「🔊」が点滅して登録される。
   それから電源を切る。

アラーム設定をオフにする。

「ブザーのアラームまたはラジオのアラームを設定する」の手順4で、アラームボタンを繰り返し押して、“消灯”を選びます。

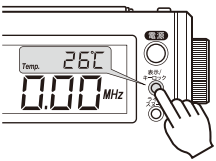
アラーム音を止める。

電源ボタンを押します。ラジオのアラームの場合は電源ボタンを2回押します。

スヌーズを機能させる

アラームが起動しアラーム音が鳴っているとき、ライト/スヌーズボタンを押すと、アラーム音が一時停止し、約5分後に再度鳴り始めます。アラーム音を止めると、スヌーズも停止します。

ディスプレイ表示を切り換える



電源が入っていないとき：

表示/キーロックボタンを繰り返し押します。温度とアラーム時刻の表示が切り換わります。

電源が入っているとき：

表示/キーロックボタンを繰り返し押します。時刻、受信レベル、アラーム時刻、温度の表示が切り換わります。

キーロックを設定する

表示/キーロックボタンを「🔑」が点灯するまで押し続けます。ボタン操作が無効になり、誤操作を防ぐことができます。ロックを解除するには、「🔑」が消えるまで再度表示/キーロックボタンを押し続けます。

バックライトを設定する

バックライトを一時的に点灯させる

ライト/スヌーズボタンを短く押します。短い操作音とともにバックライトが約5秒間点灯します。ボタン操作が行われても約5秒間点灯します。

バックライトを常時点灯させる

ライト/スヌーズボタンを長めに押します。長めの操作音とともにバックライトが常時点灯になります。電源を切ると、バックライトは消灯します。

ご注意

電池の消耗が激しいので、バックライトの常時点灯はできるだけお避けください。

各種の設定を行う

FM放送の受信レンジを設定する

本機を使用するエリア(主に海外)に合わせてFM放送の受信レンジを変更することができます。

電源が入っていないときに、FM設定ボタン(数字キーの1)を押し続けて、「87-108」、「87.5-108」、「64-108」、または「76-108」を点灯させます。押すたびに受信レンジが切り換わります。

MW受信ステップを設定する

電源が入っていないときに、9/10 kHzボタン(数字キーの3)を「9 kHz」または「10 kHz」が点灯するまで押し続けます。押すたびに「9 kHz」と「10 kHz」が切り換わり、点灯した方が選ばれます。

- 9 kHz:北米・南米以外の地域の受信ステップ
- 10 kHz:北米・南米の地域の受信ステップ

温度表示の設定について

「MW受信ステップを設定する」で「10 kHz」を選ぶと華氏(°F)表示になり、「9 kHz」を選ぶと摂氏(°C)表示になります。

LWのオン/オフを設定する

電源が入っていないときに、MW/LWボタンを「LW On」または「LW OFF」が点灯するまで押し続けます。押すたびに「LW On」と「LW OFF」が切り換わります。

12/24時間表示を設定する

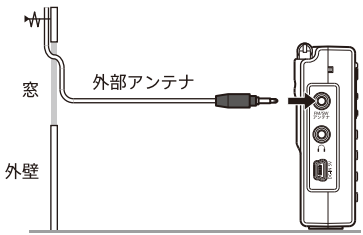
電源が入っていないときに、12/24表示ボタン(数字キーの2)を「12H」または「24H」が点灯するまで押し続けます。押すたびに「12H」と「24H」が切り換わります。

操作音のオン/オフを設定する

電源が入っていないときに、操作音ボタン(数字キーの0)を「On」または「OFF」が点灯するまで押し続けます。押すたびに「On」と「OFF」が切り換わります。

外部アンテナ(別売)を使ってFM/SWの受信状態を良くする

外部アンテナ(別売)を本機側面のFM/SWアンテナ端子に接続し、外部アンテナの反対側をもっとも良く受信できる位置に設置してください。



⚠注意

- 外部アンテナでお使いになるときは、本機のFM/SWロッドアンテナはたたんでお使いください。
- 外部アンテナについての詳細は、外部アンテナに付属の説明書をご覧ください
- 雷雨時は外部アンテナを本機から取りはずしてください。

外部アンテナ(別売)について：アイワブランドの外部アンテナをご購入希望の場合は、ご購入頂いた店舗または販売店にお問い合わせください。
型名、型番：FM/SWアンテナ、AN-02L

故障かなと思ったら

症状	原因と対策
電源が入らない	(乾電池にて使用時)電池が正しく入っていない。 → ＋と－を正しく入れる。(13ページ) 電池が消耗している。 → 新しい電池を入れる。 キーロックが設定されている。 → キーロックを解除する。(28ページ)
音が出ない	音量が最小になっている。 → 音量ダイヤルを回して音量レベルを上げる。 イヤホンが差し込まれている。 → イヤホンを抜く。
雑音がはいる、受信状態が悪い	テレビやパソコンや話し中の携帯電話の近くで受信している。 → テレビ、パソコン、携帯電話から離れて受信する。
操作できない	キーロックが設定されている。 → キーロックを解除する。(28ページ)

主な仕様

受信周波数	FM：76 ～ 108 MHz（日本、ワイドFM） 87 ～ 108 MHz 87.5 ～ 108 MHz（北米、西欧など） 64 ～ 108 MHz（ロシアなど） MW：522 ～ 1,620 kHz 520 ～ 1,710 kHz（北米など） LW：153 ～ 513 kHz SW：2,300 ～ 21,950 kHz
出力端子	イヤホン端子（Φ3.5ステレオミニ）
入力端子	FM/SWアンテナ端子（Φ3.5ミニ） DC-IN 5V端子（ミニUSB B）
スピーカー	57 mm（16 Ω）×1
実用最大出力*	180 mW
電源	単3形乾電池×3（DC 4.5 V、別売） 外部電源USB DC 5 V（ACアダプター、別売）
電池持続時間	スピーカー使用時　約44時間 イヤホン使用時　約74時間 （アルカリ乾電池使用時）
消費電力*	1.1 W
最大外形寸法	141（幅）×87（高さ）×30（奥行）mm（最大突起部含む）
質量	約195 g（乾電池含まず）
同梱品	本体（1） ステレオイヤホン（1） USB電源ケーブル（1） 取扱説明書/保証書（本書）

*（社）電子情報技術産業協会「JEITA規格」による測定値

製品保証書

持込修理

品名	ワールドバンドラジオ
型名	AR-MD20
お買い上げ日	年　月　日
保証期間	お買い上げの日から　1年

本書は、下記記載内容で無料修理を行う事をお約束するものです。お買い上げ日から上記期間中に故障が発生した場合は、ご記入の上、修理をお申し付けください。

●本書は再発行しませんので大切に保管ください。

お客様	様
ご住所	〒□□□-□□□□　電話　-　-

●ご販売店様へ

お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入のうえ、保証書はお客様へお渡しください。

販売店

商品、操作方法やトラブル、修理のご依頼及び部品、修理品に関するお問い合わせ

アイワお客様ご相談窓口：0570-062-312

受付時間：平日9時～17時(土日、祝日、長期連休を除く)

※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。

アイワジャパン株式会社　ホームページ：http://a-jm.co.jp

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別(持込修理)をご確認の上、以下の要領でご依頼及び本書の提示・提出をお願いいたします。
   なお、受付窓口の種類は、お買い上げの販売店または本書に記載の相談窓口となります。

種別	保証書の提示・提出
持込修理	持参した製品の修理依頼の際に提示

2. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。
   (1) 本書の提示が無い場合。
   (2) 本書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入が無い場合、または字句を書き換えられた場合。
   (3) 保証期間中に発生した故障について保証期間終了後に修理依頼された場合。
   (4) 使用上の誤り (取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む) による故障・損傷。
   (5) お買い上げ後の輸送、落下などによる故障・損傷。
   (6) 火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変、公害・塩害・異常電圧などによる故障・損傷。
   (7) 一般家庭用以外(業務用など)に使用された場合の故障・損傷。
   (8) 他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷。
   (9) 消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換。
3. 故障の状況その他事情により、修理に変えて製品交換する場合がありますのでご了承ください。
4. 修理に際して再生部品・代替え部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ、適切に処理・処分させていただきます。
5. 本書に基づく無料修理 (製品交換を含む) 後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
6. 故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については保証致しません。
7. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての保証はいたしません。
8. 本書は日本国内のみで有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ

- 本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理につきましては、取扱説明書等をご覧ください。

SAMPLE